発行日　2024 年 12 月 5 日

BLMC ニュースレター第4号

＜目次＞

p. 1　・・・BLMC 会員の皆さまへご挨拶
p. 1-4・・・株式会社バルコ　日本法人の社長　加藤浩典さまのインタビュー
p. 5-6・・・大使館・各団体からのお知らせとニュース

BLMC 会員の皆様

2024 年もカウントダウンに入りました。皆様、お変わりないでしょうか？

さて、今回のニュースレターは、当会の理事でもあるバルコ株式会社の日本法人社長である加藤浩典さんにインタビューをしてまいりました。

＜今回のテーマ＞

バルコ株式会社

-今日は多忙な中お時間をありがとうございます。
早速ですが、どのような製品を取り扱っていらっしゃいますか？

バルコは創業してから今年で 90 年、B2B 向けのビジュアルソリューションに関わる製品やソフトウェアを開発して、全世界で販売しています。主なビジネスの領域はエンターテイメント、エンタープライズ、ヘルスケアの 3 つです。

エンターテイメントは主に映画館向けのプロジェクターや、イベントで使われる映像表示装置、プロジェクションマッピングやミュージアム、テーマパークなどに向けたソリューションです。

エンタープライズは企業や自治体で活用される映像表示装置、監視センターなどの大型映像とソフトウェア、そして会議の際にワイヤレスでPCやタブレットから映像と音声をつなぐClickShareなどがあります。

最後にヘルスケアは、主に画僧診断用と医用ディスプレイ、それにカテーテルのような画像を使って行う手術のシステムソリューションを展開しています。バルコの名前、Belgian American Radio Corporation、の由来でもあります「ラジオ」が最初の製品でした。 注：ClickShare ↑

-全世界の売上の割合や、製品ごとのシェアはどのような感じなのでしょうか？

バルコは世界に30以上の拠点を持つグローバルカンパニーです。Fortune500の約7割の企業と取引を行っており、売上の構成比としては、昨年度は約4割が南米含むアメリカエリア、3割が欧州、残りが中国を含むアジアです。開発の主な中心はベルギーですが、イタリア、インド、台湾、中国などにも開発や製造拠点があります。

市場シェアでいえば、たとえば全世界の半数以上の映画館がバルコのプロジェクターで上映されています。また医用診断ディスプレイやワイヤレスプレゼンテーションの領域でも、現在は世界のトップシェアを持っています。

注：Fortune500・・・米国の経済誌Fortuneが毎年掲載する米国の売上規模上位500社

-すごいですね。グローバルな企業であることが分かります。
ちなみに、日本での開発や製造などは行われているのでしょうか？

開発・製造拠点は日本にはありませんが、日本国内に向けた販売とカスタマーサービスが主な役割です。特に日本は顧客の中にグローバルビジネスを行っている企業が多いので、その窓口という重要な役割も含んでいます。

-なるほど。では、バルコの日本法人についてお聞かせいただけますか？

バルコの日本市場への進出は当初は代理店を通じて行われていましたが、1995年に日本を重要な戦略拠点と見なして現地法人を設立しました。現在は東京の大田区に本社があり、大阪にブランチオフィスがあります。

主な顧客は多くの企業、自治体、文教、映画興行会社、イベントレンタル会社、プロダクション、医療機器メーカーや医療法人、システムインテグレーターなど多岐に渡ります。

-日本のビジネスの現状について、少し内容をお聞かせいただけますか？

主なビジネスは全世界でおこなっているものと変わりません。ただし日本市場の特殊性やユニーク性は考慮したうえで、それぞれのビジネスは進められています。

たとえば、日本のお客様やパートナーは品質について強いこだわりがあり、品質の不具合についての報告も日本からのインプットが世界に先駆けてということが多々あります。そんな中で弊社のカスタマーサービスは、非常にきめ細かいサポートの提供を常に求められます。

また競合他社に日本の会社が多いのも特徴です。彼らは日本市場がホームグラウンドなのでリソースが潤沢であり、同じ言語で本社の開発やサービスメンバーがお客様とやり取り出来る強みがあります。

-そのような環境下で、バルコの日本法人としてはどのような対応をされているのでしょう？

我々の開発拠点の中心はベルギーなので、やはり本社の開発、製造、サービスといったメンバーとの細かい連携が欠かせません。毎日のように彼らとはビデオ会議やメールでのやり取りを行い、お客様が要求する仕様や品質について意見交換を行います。コロナが始まる前からリモート会議は日常的に活用していたので、そのプロセスは昔も今も変わりません。

-日本での主なビジネスの事例をご紹介いただけますか？

最近の主な事例をお話しすると、映画館では全国に 700 スクリーンを超える劇場を持つ TOHO シネマズ様へ、この 4 年間で 300 台を超える弊社のレーザープロジェクターを導入いたしました。ソニーマーケティング（株）の協力と共にこの設置を行っています。一昨年の 12 月にベルギーから約 600 人の経済ミッションが来日した際は、アストリッド・ベルギー王国王女殿下を TOHO シネマズ日比谷にご案内して、弊社の設置した映像をご覧いただきました。

ユニークな事例としては、世界的高級ホテルチェーンのヒルトン東京にあるメインの宴会場「菊の間」に、湾曲型の大型 LED（15mx3.5m）を設置しました。Vega Project K.K.がデザイン、設置を行い、この映像演出を使って様々なイベントが行われています。

それ以外にも、全国約 500 の医療施設へ手術室向けビデオソリューションを納入したり、数多くの企業の会議実にワイヤレスプレゼンテーション ClickShare が導入されるなど、我々の生活に近い場所で弊社のビジュアルソリューションが数多く稼働しています。

-日常の様々な場面でバルコの製品が活躍していますね。ちなみに、日本と本社間に意思疎通などで問題はありませんか？

Diversity & Inclusion はバルコの重要なテーマです。ベルギーは大国ではありませんが、様々な文化を受け入れる土壌があり、世界でビジネスを行うバルコも、おのおのの言葉や文化、ビジネス習慣などをお互いがいかに理解するかに注力しています。もちろん、日本人にとって英語のハンディは大きいですが、世界共通言語としての英語のコミュニケーションは必須で、日本法人にとっての 1 番の悩みは、各分野における専門知識を持ちながら英語でのコミュニケーション能力を兼ね備えた人材の確保です。

-なるほど。最後に、加藤社長の座右の銘は何でしょうか？

「一期一会」、ですね。常にこの一瞬を大切に感じて過ごしています。

-そうですね。私もこのニュースレターを通して会員の方々に直接お話を聞く機会をいただいておりますが、本当に「一期一会」ですね。今日はお忙しい中、貴重なお話をお聞かせ頂きありがとうございました。今後もバルコの益々のご発展をお祈り申し上げます。

＜各関係機関と組織から＞～11 月から令和７年２月までのイベントやニュース～

＊ベルギー大使館

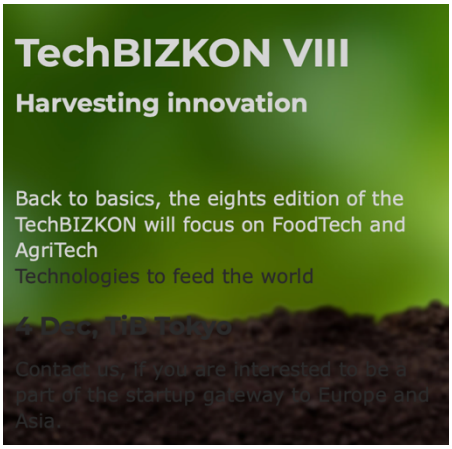
11/14,15　キングスデーのレセプション@ベルギー王国大使館
11/19　　Study in Belgium（ベルギー留学説明会）@ベルギー大使館
11/12-22　BelExpo 訪問団の来日（大阪・関西万博の準備）
1/11-3/23 ジャン=ミッシェル・フォロンの企画展　@名古屋市美術館（名古屋市中区）

＊ルクセンブルク東京貿易投資事務所

12/6　　LUXEMBOURG CULTURE SEMINAR 開催(主催: うめきた PUBLIC SCOOP) @グラングリーン大阪
https://www.investinluxembourg.jp/ja/news/grangreen_osaka_hotwineevent/
12/10-11　関西 X ルクセンブルク 経済セミナー開催 @ホテルグランヴィア京都・コンラッド大阪
https://www.investinluxembourg.jp/ja/news/economic-seminar-in-kansai-region_2024/
1/29-31　2025 国際宇宙産業展に、ESRIC/Technoport 共同出展(ブース番号: S-11)
@東京ビッグサイト・南ホール
https://biz.nikkan.co.jp/eve/isiex/

＊ベルギー・フランダース政府貿易投資局

11/4　　スタートアップイベント「TechBizKon 2024」
＊４つの団体や会社と共同開催 @ Tokyo Innovation Base
＊（ドイツ商工会議所・アドバンテージオーストリア・Plug & Play Japan・AGVenture Lab ）
農業技術や食品技術の分野で活躍するヨーロッパと日本のスタートアップ 23 社が参加し、ピッチや展示を通じて自社を紹介しました。イベントには、200 名以上が参加し、最後はベルギー大使館でベルギー風のレセプションで締めくくられ大成功に終わりました。
23 社のうち*3 社はフランドル企業で、この 3 社に BtoB ミーティングの機会の場も提供しました。
http://www.techbizkon.com/techbizkon-viii-2024.html



＊ブリュッセル首都圏政府貿易投資局

11/13　　ブリュッセルのルイーズ商店街と姉妹提携をしている名古屋の栄町商店街振興組合のご招待で ランチに参加。 同じように栄町と姉妹提携をしているパリのモンテーニュ商店街の方々も参加し、 交流を深めました。

＊ベルギー王国ワロン地域政府貿易・外国投資振興庁

11/26　　N-Side 社がセミナーを開催　　@ベルギー王国大使館 Thomas Cornelisz ホール
＊N-Side 社：ルーヴァン・カトリック大学のスピンオフ企業で、専門は臨床供給計画・予測の解決

12/14-27　EU フィルムデーズに参加　@シアター・イメージフォーラム in 渋谷

＊ベルギー・フランス語圏からの参加作品は、ヨランド・モロー（Yolande Moreau）監督の『詩人の花嫁（原題: La Fiancée du Poète）』です。 本作の主人公は、絵画と詩歌を愛し、ナミュールのカフェテリアで働く孤独で傷ついた女性です。広大な土地家屋を相続し、その維持費に充てるため 3 人の男性に部屋を貸したことで劇的に変化した日常生活が描かれます。

1/11-3/23 ジャン=ミッシェル・フォロンの企画展@名古屋市美術館（名古屋市中区）

4/5-6/22　同上　@あべのハルカス美術館（大阪市）

＊20 世紀後半のベルギーを代表する芸術家、ジャン=ミッシェル・フォロン（Jean-Michel FOLON, 1934-2005）の初期のドローイングから水彩画、版画、ポスター、晩年の立体作品まで約 230 点を紹介する企画展「空想旅行案内人 ジャン=ミッシェル・フォロン」が 7 月 13 日から 9 月 23 日まで、千代田区の東京ステーションギャラリーで開催されました。9 月 9 日（月）午後、天皇皇后両陛下とご長女愛子さまがご覧になりました。

期間中の休館日、入館料等の詳細については、ウェブサイト等でご確認ください。

BLCCJ（ベルギー・ルクセンブルグ商工会議所）

11/22　ガラパーティー　@コンラッド東京

＊今年のテーマは「万国博覧会におけるベルギーとルクセンブルクの参加 」

12/10　2024-2025 日本輸出大賞授賞式 @ベルギー王国大使館

＊BLMC も支援

12/11-15　ベルギーショップ @ベルギービールウィークエンド新宿（三角広場）

＊ITIC と BLMC が支援

12/12　年末ビアーギャザリング @ベルギービールウィークエンド新宿（三角広場）

＊BLMC と JBS 合同

12/17　通常総会　@ルクセンブルク大使館

1/22　2025 新年会　@Le Petit Tonneau

皆さま、どうぞ良い年越しを。。。

以上

BLMC オフィス・マネージャー

井宮　さおり